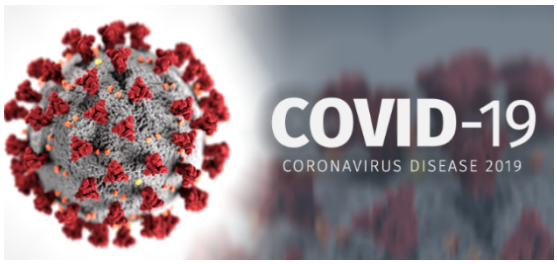
NPO 血管医学研究推進機構事務局

新型コロナウィルスに関する緊急記事１

新型コロナウイルス特集 2
「新型コロナウイルス感染症が血管に及ぼす影響について」



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、4 月の緊急事態宣言以降一度は収束の兆しが見られたものの、7 月以降、陽性者数や入院者数が再び増えてきており、引き続きの注意が必要です。

新型コロナウイルスに感染しても、80%の人は無症状、あるいはいわゆる風邪と同じような軽症で済みますが、約 5%の割合で重症化が起こり、命にかかわることもあります。どのような場合に重症化が起こるかはこれまで不明でしたが、最近の研究により新型コロナウイルスが「血管の炎症」を起こすことが明らかとなり、特に血管系の基礎疾患の患者さんでは注意が必要ということが分かってきましたので、紹介いたします。

新型コロナウイルスは『血管の炎症』を引き起こす

警鐘：新型コロナウィルス感染により血栓症発症リスクが増大

新型コロナウィルス感染では、発熱や咳等の呼吸器症状が最も頻繁に現れますが、血管に炎症を起こし血栓症を発症することもあります。特に重症者では血栓症（深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症、脳梗塞、心筋梗塞等の動静脈血栓症）を発症する頻度が高く、全身症状を悪化させる因子となっています。

（一般社団法人 日本血栓止血学会HPより）

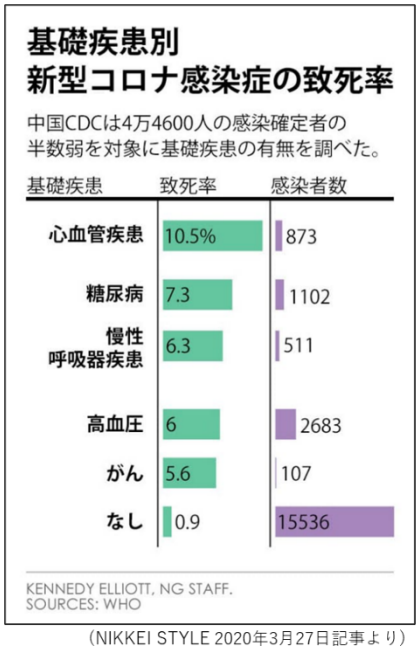
さて突然ですが、2020 年 5 月に一般社団法人 日本血栓止血学会が「新型コロナウイルス感染により血栓症発症リスクが増大する」という警鐘を鳴らしています。

新型コロナウイルス感染症と言えば、みなさん肺や気管といった呼吸器の疾患をイメージするのではないでしょうか？たしかに新型コロナウイルスに感染すると、初期症状として咳や発熱といった呼吸器系の病気の症状が見られ、肺炎、さらに呼吸障害を発症することがあります。新型コロナウイルスは正式名称を「SARS-CoV-2」と言いますが、これは『重症急性呼吸器症候群を起こす 2 番目のコロナウイルス』という意味で、当初、肺炎による呼吸器不全を発症する患者様が多く見られたため、このように名付けられました。

しかしながら、その後の研究で、新型コロナウイルス感染症では呼吸器の障害のみでなく、全身の血管の炎症、さらに血栓症が起こり、そのことが重症化に

つながることが分かってきました。

私たちの体の中に侵入した新型コロナウイルスは、まずのどや気管、肺といった呼吸器系の細胞に入り込み、その結果、咳や発熱といった症状が起こります。ここまでは私たちが毎年引くような風邪と同じですが、新型コロナウイルスは、さらに血管を構成する「血管内皮細胞」にも感染するのです。
血管内皮細胞にウイルスが感染すると、私たちの体の中の免疫細胞が感染した細胞を排除しようと攻撃し、そのため血管内で炎症が起こります。ケガなどで出血した時に血液が自然に固まる「凝固」はみなさんご存知と思いますが、私たちの体の中では、逆に固まってできた血栓を溶かす「線溶」という仕組みも働いており、この凝固と線溶のバランスによって血流が正常に保たれています。しかしながら、このような血管内の炎症により線溶に障害をきたしてしまい、その結果、梗塞や虚血といった血栓症が引き起こされてしまいます。



（NIKKEI STYLE 2020年3月27日記事より）

このことは、特に元々血管系の疾患を持っている患者さんにとっては大きな問題となります。実際に中国での調査によると、右図のように心血管疾患の基礎疾患がある患者さんでは特に致死率が高く、基礎疾患のない患者さんと比べて 10 倍以上高いことが報告されています。

新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐために

では、血管系の基礎疾患がある場合、どのようなことに気をつければいでしょうか？
前述の日本血栓止血学会では、以下のように提言しています。

（１）　３密の回避、手洗いの実行、継続運動

地域での感染症の蔓延を防ぐには不可欠な方法です。不自由ですが努力するしかありません。外出を避けるとどうしても運動量が減ります。早朝等３密を避けながら近所の公園等を散歩しましょう。それも困難な場合は、足の背屈運動や屈伸運動等、屋内でできる運動を継続しましょう。

（２）　血液サラサラのお薬の内服継続

血栓症予防薬を内服している患者さんは、内服を継続することが大切です。慢性疾患の内服薬の処方箋に関しては、病院での３密に配慮して様々な工夫をされている病院・医院があります。お薬を切らさないようにして、内服を継続しましょう。

（３）　血栓症の情報の共有

万一血栓症の既往のある方や血栓症予防薬の投与を受けておられる方が新型コロナに感染したら、主治医に血栓症の既往があること、現在の治療方法等々をお話しし、情報を共有しましょう。治療方法を変更する必要がある場合もあります。

（一般社団法人 日本血栓止血学会HPより）

まずは新型コロナウイルスの感染をできるだけ防ぐこと、そしてこれまで通り病院で出された血栓予防薬を服用することが大切です。万が一感染した場合には、血管系の基礎疾患があることを必ず医師に伝えるように心がけてください。